

令和3年4月30日

上柴中学校保護者 様

深谷市立上柴中学校
校長 宮前 日出男

令和3年度 上柴中学校 部活動について

麗春の候、保護者の皆様におかれましては、日頃より上柴中の部活動運営につきまして、様々なご理解とご協力をいただき、まことに感謝申し上げます。

さて、今年度の部活動についてですが、その詳細については、別紙「部活動について」という資料と、各部の顧問から後日、書面、もしくは懇談会等で、指導方針、練習計画、予算、運営についてなど詳細な話があると思いますので、具体的なお話はそちらに任せます。校長からは、部活動の意義について、ここで、お話しさせていただければと思います。

常々私は、この上柴中を生徒、教職員、保護者、地域が ONE TEAM になれる場にしたいと思っています。そして、それが、部活動なら可能です。今、部活動はブラック部活などと、先生方の負担の元のように言われる時があります。でも、これこそ、教師と生徒が真正面から向き合えるものであり、その中で、厳しさを乗り越えた経験が、子供達の大きな自信になります。そして、部活動が盛り上がることで、学校全体が ONE TEAM となり、仲間を応援することの喜びや、連帯感、愛校心が生まれます。それは一昨年のラグビーW杯を見れば、明らかです。

それでは、本校の部活動について基本的な考え方や、保護者の皆様へのお願いを、少しお話しさせていただきます。別紙で配布される「部活動について」にもありますが、まず、私が考える部活動の目的を4点、あげたいと思います。

1点目は、部活をとおして心と体を鍛えるということです。何よりも健康は大切です。中学校の3年間は心も体も著しく成長する時期です。ぜひこの時期に自分の体を鍛えてください。そして、逆境にも立ち向かえる強い心を育ててください。若い時期に、健康な体とへこたれない強い心をつくることはとても大切なことです。

2点目は、部活をとおして「人と支え合い、人を思いやる心(力)」を身につけることです。人は一人では生きていけません。社会人として、また家庭人として幸せに生きていくためには、誰とも支え合うことができる、人間関係を築いていくことが大切です。部活動なら、一生つきあえる友を持つことができます。

3点目は、部活動を頑張ることで、将来の夢が持てるということです。人間は何かやりたいこと、打ち込めるものがあれば、それを自信と力にして、生きる目標(夢)が持てます。それさえあれば、これから出会う壁、障害にも、立ち向かえるエネルギーにもなります。

4点目は、部活を通して、前に向かう(挑戦する)心の姿勢を身につけられるということです。『迷ったら、前へ』です。未来を生きる若者には、失敗を恐れず挑戦する勇気と一歩踏み出すチャレンジ精神が必要です。「成功すると思うからやる。できないから、やらない。」ではなく、「やりたいなら、やってみればいい。できると思うから挑戦するのではなく、やりたいと思えば、挑戦すればいい。」と、あのイチロー選手も言っています。これを実践できるのが、部活動です。どんなに厳しい状況でもあきらめず、一歩前に踏み出そうとする心の姿勢を部活動なら創ることができます。

次に保護者の皆様へのお願いとして、2点、お話しさせていただきます。

1点目は、部活動について何か困ったこと、疑問点があれば気軽に顧問や担任に相談してほしいと思います。子どもを上手に育てるためには、指導者と保護者の信頼関係がとても重要です。学校としても信頼関係がしっかり築けるよう努力しますので、是非、何かありましたら気軽に相談してほしいと思います。

2点目は、先生方は頑張っています。ということです。上中教職員は全員が部活顧問を努め、部活中は、忙しい中、練習に出て、生徒下校後から、仕事を始める人もいます。そのため、帰宅が遅くなる時もあります。それでも、先生方は生徒と向き合うことを第一に、その教育的価値を信じ、休日もその多くの時間を割いています。この教職員の健康状態が心配です。家族にも相当の負担をかけていることを、保護者の方々にも、ご理解願えればと思います。国は教職員の働き方改革を重点に、土日、平日の練習にも休養日を取る方向で、部活動が「トライ」を示しました。どうか、ご承知置きください。

最後に、あらためて、生徒の健全なる成長のため、保護者の皆様には、部活動へのご理解、ご支援、ご協力を、重ねてお願いし、校長の話と致します。